

唐土訓蒙圖彙卷之十一

之五

草木

此部より山石芳蔓草の類としくく
のよそに記し

荖日

和名

生蒿のくくつが
子三三より白六十
葉一いつら秋むさ
白も多くるは葉ハ
少く茎と葉ハ

和名ハモロコ



鉄掃帚

和名

申に生れ一か二三
十茎地小然てさる
二三人を首掃帚
似たりまよりおまて
おまておまて

和名ハトノキ



吉祥草

水玉

石上に拘らる
あつと花ハ
紫し甘倍茶



美人蕉

葉蕪鉄のよ
くも蓮れや
色お丹乃
中心一原曉其
と生れ



苗生 高ニ人

葉竹の如くしてひ
ろくあおれ對する
ゆがし白むを
ひら子黍の如く
根生姜の

葉

せくくしてよく表
白く裏まきし莖
竹の如く葉の間
花といらく砂
のく實と結
くせいの形

柴胡 苗生

して甚香し莖
まは糸よして葉
竹に似たり又蒿に
似たり葉冬より
似て短ものなり

黄耆日 葉

根をふし似てわし
若はまむといらに
小角といふ又蕨
藜といふあり根
の長さ二三寸人

人參 春苗

と生して三四月
花を細小く
紫白色の形
根人の形と神

玄參 春

苗と生し莖
色より七
花を用く
色し八月



和名カラスユリ



黄芩 叢

生高一尺より又
独莖をりもわり
葉細長くあお
對し六月に
と用く根知母乃

天麻 苗の

初て出る若葉の
独莖と抽
て二三尺前
二三尺前
故に

藤薺 苗莖

都て人參に似
葉小く根異
結梗根に似
心く
又白わり

沙参 苗生

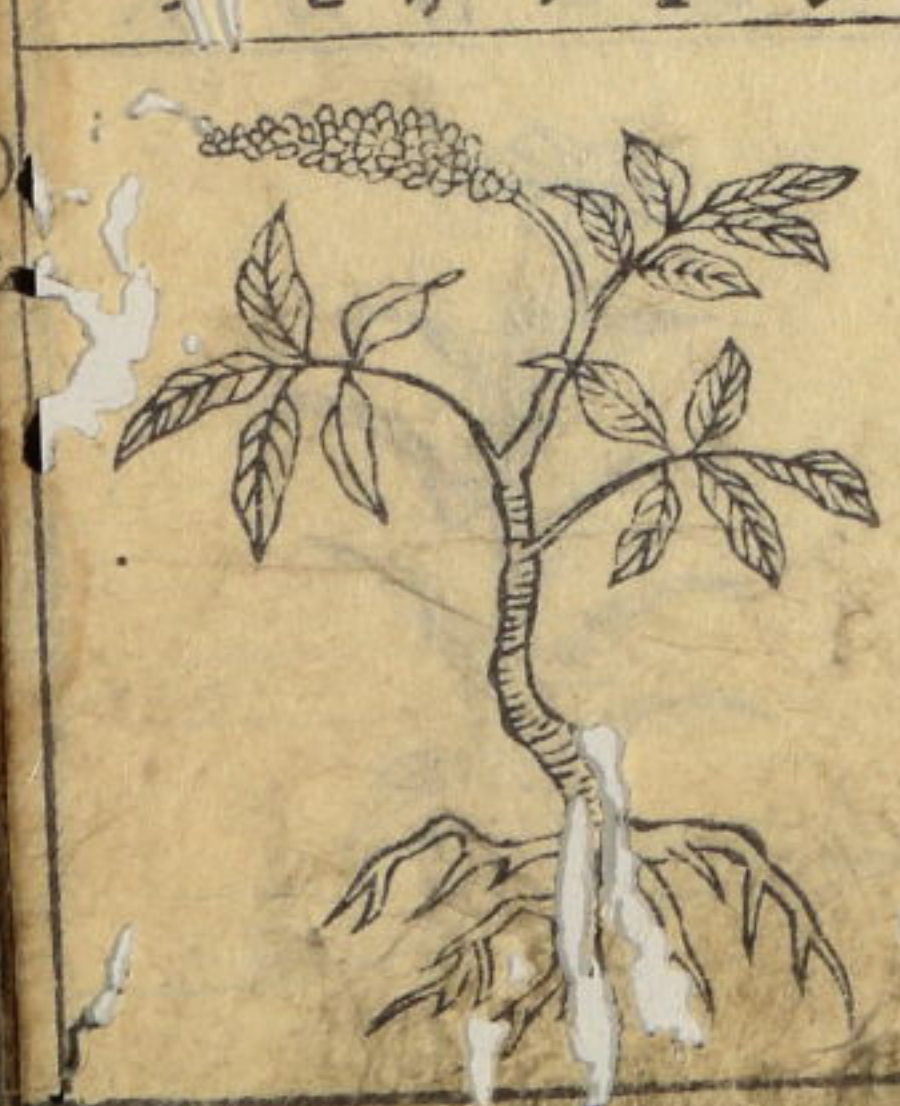
一七二尺 葉
崖壁の間に
あり葉枸杞に
似て又牙あり
七月はふと用

丹参 苗生

一七高一尺より
莖葉方稜
葉荷の
て毛わり三
月花といらく
色は紫色なり

紫参 苗長

一七二尺 莖
細葉槐に似
又羊蹄に似
もわり五月
用て白く又
の者もわり



羊蹄に似て根ハ
海艸に似て區

杏參ハヤシ根

小菜根ハヤシ似り

耳草ハヤシ 苗生

一七三二尺葉
櫻の如く七月迄

花と用く奈に
似り子と猪て

角子とケケリ

知母ハヤシ 四月
まむと用く
葉の如く八月
月実とひまふ
根黄色ハヤシ 菅蒲
似て類同し

徐長卿ハヤシ 苗の

三三入葉柳
似て細く尖る小

花とひらして尖
角兒とひまふ根

細辛ハヤシ 似く香
氣も同し

淫羊藿ハヤシ 葉ハ
杏ハヤシ 似て上ノ刺

かりて粟稗乃
根はひらして

四月白毛といら
く又此毛とやり

貫衆ハヤシ 苗生
一七赤く葉ハ

蕨のや一莖幹
三稜葉綠色小

鶏の翅に似り



自母ハヤシ 葉ハ

蒼麦に似て七月
花と用く多人白

色根貝子を
あつひらぐ如く故

又名つ救行ハヤシ

前胡ハヤシ 苗生
と生一五月白色

蒿ハヤシ 似り初時
自葉長三四寸

甚香羨ハヤシ 一種
柴胡と當版ハヤシ

升麻ハヤシ 苗生
一七三二尺葉

葉麻ハヤシ 似て三三
月とひらして

白と葉あり大
小二粒ありハ

園中よくて上

仙茅ハヤシ 葉
まむと芽の如く

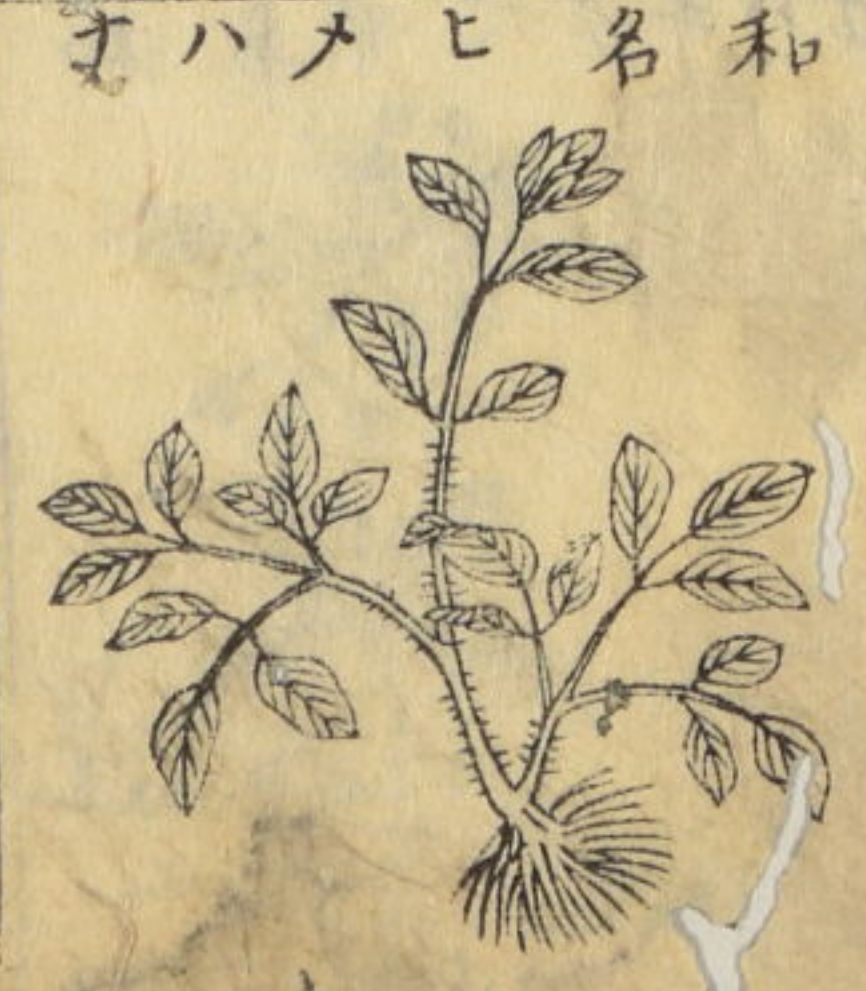
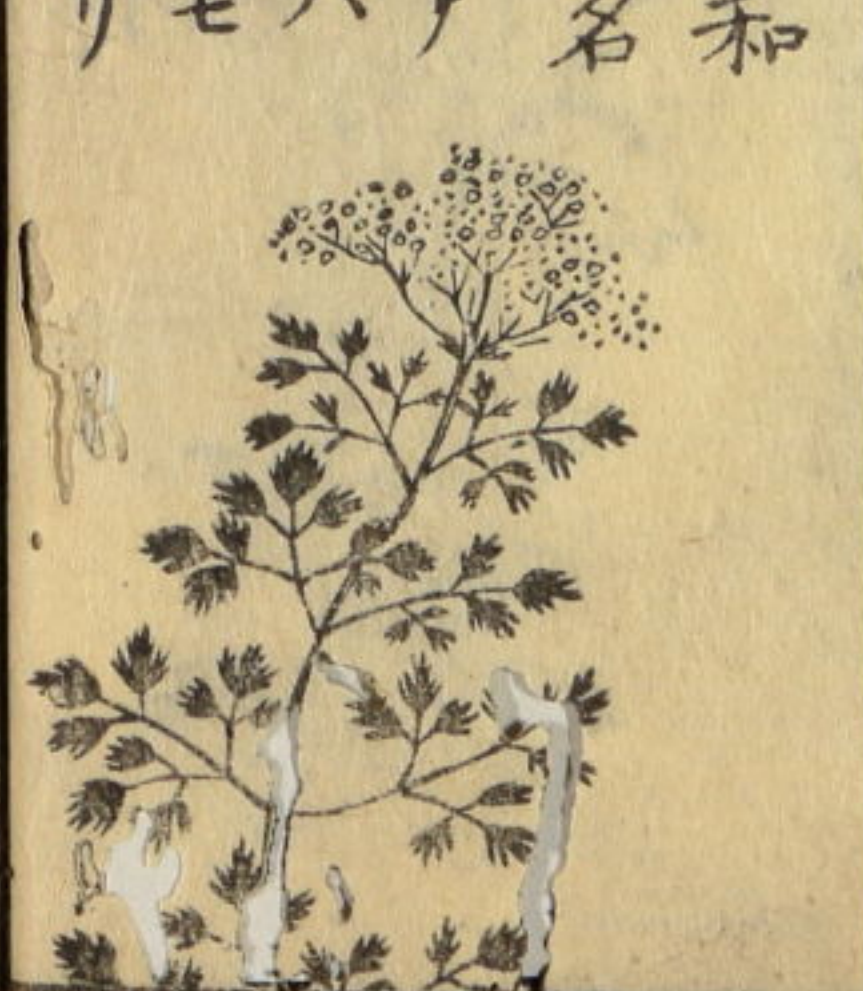
軟うに復積溜
一面に縦理る

三月花用て梔
子の如く実を

白頭翁ハヤシ 苗生
狀白微のくとく

長くとく莖葉白
毛あり根のをさ

取に白茸ありて
白頭ハヤシ の老翁ハヤシ 似り



白及 直長
一丈許 粉
莖に似たり 莖の
端に一莖と生し
夏むといらぬ
七月実と
結ぶ 白むり



地榆 宿根
上り生 高三四
尺 葉狭細
鋸葉 七月
花といらぬ



白鮮 苗生
七高尺 餘あり
四月は花と用て
淡紫色 小罇
似たり 根ハ蔓
青 似たり 皮の色
黄白なり



平地木 高尺
子甚お多ハ
出散 處に
よそて生に



白薇 葉柳
葉類 六七月
紅花と用く 八月
実と 根ハ根
黄色 牛膝
類 短



茅藤果 葉ハ
竹の 子と枝
葉下 生に
赤と 丹砂乃
霜雪 にも
梅雨の 中に用く



胡黄連 胡国
生 今 慶に
わり 初生 莖ハ
似たり 乾て 揚
柳の 枯枝 似たり
心 黒く 外黄



金莖花 一名
高良姜 紫白金
莖の 三色あり
諺曰 不常金莖
花 不得入 仙家
と あり



黄連 苗ハ
莖ハ 似て 叢生に
一莖 三葉と 生し
冬ハ 凋す 花ハ
花葉の 容ハ



秋牡丹 去
栽て 秋花
初生 葉ハ
深おつ 花ハ
似たり 莖ハ 三岐
ありて 鼻ハ 突
ありて 生に



素五口 葉ハ
秋冬 似て 大
色 深き 葉ハ
花ハ いらぬ 煙
忌 同



三七 本名 春苗
と 生し 葉ハ 三
四 人 葉ハ 似て
厚ハ 秋葉
いらぬ 葉ハ
三石 曰 故 三七



萬年草 葉ハ

蕙草に似て根
く厚く冬も
あつらふと朱葉
ありふらむ

金星草 葉青

多く背陰の石上
に生れ葉長二
尺又之に至て北
上は黄星點子
と生れ兩にお
一金色の

骨碎補 根大

木に生し或ハ石
上多く北背陰の
處ありこれハ
名ハ孫姜と云
折傷と主とい
は

石莖 葉

青く言ふ一尺八
寸葉水柳の
く短く多くハ
河岸の石の
上に生れ

崖櫻 苗の

高一尺己来四
季もふわり其
根と用

石長生 葉ハ

蕨に似又檜に似り
多ハ山陰石岩
の下に生れ
世に生れ生れ

本草綱目卷十

トモヲ名



景天 葉ハ

馬齒莧に似て
葉は厚く
昔より慎火草と
一物に似て
らる大に根を

紫背金盤 苗の

高さ一尺を
葉の背紫を
花は根を

地錦草 苗葉

細弱して蔓
とありて地を
一莖赤く葉
青一中夏後
盛に

當歸 春

苗と生し葉
緑して三瓣
あり七八月
とひらく花
似るものなり

肉豆蔻 胡国

より出つ令嶺南
木に生れれとうの
花實豆蔻上
似て圓く小く皮
紫上内の肉辛

白豆蔻 苗ハ

芭蕉に似て
杜若に似て長八
九尺を光澤
夏潤す
色実あり

ソイケンヘ名



白芷 一葉

相對此紫色花
潤之三指たり
花白く微黄に
伏し入て実と
結ひ立木の如し

蓬莪 昂

莪木一高三三尺
葉青白色長一
二尺葉荷一類
五月花あり
穂とわ根生
姜のくくなり

京三稜 春苗

と生以高三四尺
葉蒲葉に似く
皆三稜わり五
六月花と同く
刈草に似たり

零陵香 葉

麻の如くあり
對気ハ麻
蕪の如く七月
花と用て至く
かり

獨頭蘭

蘭と似て小く
白むといらく赤
蘭の如く
赤脚長鬚の如く
香とともふ

茅香 三月

苗と生して大麥
と似たり五月白
花と開く又草
花と開く又草
花と開く又草



草撥 叢

生高三四尺葉
圓く潤二三寸葉
の如く三月白む
と用く七月子と
結ひ搗み

鬱金 四月

苗と生し葉黄
く似く花白く貫
紅なり
根黄赤
地とすり

補骨脂 昂破

故紙かり莖乃
高き三四尺葉
薄荷に似て微
紫色實ハ麻
子に似たり

木香 葉

羊蹄と似て長
大に花ハ菊の如
く又葉山の芋
乃とく紫花と
開く者わり根の
形枯骨に似たり

杜若 江湖

又生し葉ハ
白く花赤色根
白く似たり
花と用たり

甘沙草 昂

香附子と田
稔と似たり葉
三稜と似て根ハ
附子の如く



和名ホク

和名カマツ

薄荷 葉

根は似て光長
冬と春て根を
干して夏生に
夏秋茎葉と
より暴乾



蕙 葉

葉は似て小く
六月より
豆と藿と似て
形似る故に
和ニツルハ藥ニ用テ
ヨロシカラス



高良薑 春苗

と生は葉葉葉
苗の如く大なり
高一二尺より
花は紫色を山
姜の如し



香薷 飲

葉は似て葉更
子細し十月
より一二月香薷
と作る



茉莉 花

春末より開て
香あり花白
葉のこのわり植
て栽培と



藜 葉

白芷に似て香
五月白毛を
七八月と結ぶ
根は紫色あり



益智 葉

葉に似て高
丈其根の葉
小枝と生れ其
花葉ハ種と
子ハ葉の



縮沙蜜 苗

高良薑に似て
三四入三月
と用て根下に
あり五六月実
とる



甘松香 叢

生は葉細く
茅草に似り根
極て細小密
八月採て湯浴
てんく香



荷葉 木

縁て生れ其子
葉の長三寸密
は蔵く食は辛
く香



天門冬 蔓

生は葉一丈
葉のこのわり
葉香のこの
刺わり刺多
わりは花



菴 夏

苗と生れ葉の
草木乃
ははく六七
月子と結ぶ



和名キニ 蜜語

和名ヘス

和名レウ

葎草 葉ハ

苧麻のくまに
して小く細く
わりたる黄白
子も麻子に類
一猪殃殃
名

白薬 苗ハ

苦音 似て四月
して赤莖長
蒴蘆に似たり
六月白むと開
八月子とじよ

紫葍 春生

夏枯る赤蒲葍
似て紫赤色長丈
大者徑二三寸紫
莖葉に似て根
皮もに紫赤色

使君子 三月

花と生と淡
色久して深
五瓣わり七月
実と結ぶ大と抱
子と散ると

纏枝牡丹 枝字

して倚附と生
花牡丹の態
度わりて甚小
小葉に纏り
花開ハ細花と
して雅観わり

鉄線 鏡

洲に生に三月
根ととり用の
土人腫毒を
消し



和名ムクナ



和名カサカサ

土地利 春夏

苗と生し蔓を
草木の上と
まじり赤赤梨
まじり蕎麥イ
似たり七月花
といひわらひ
下は細わり

顔知子 蔓

生大木の上
葉緑二三
角わり面ふく
背淡し七八月
実わり

千里光 葉ハ

菊に似く枝長
幹圓くして青
背に毛わり秋
莖葉と生して

馬兜鈴 苗生

して蔓の如く
葉山芋に似り
六月実と開
七月実と結ぶ
大さ終乃

天壽根 台茹

に生に毎歳
土貢
性涼く
甚胸膈の煩
熱と治す

威靈仙 生

と草に比し
似て葉柳の
似て車輪の
式石白と結ぶ



和名カサカサ

白英 蔓

生して葉長く白毛あり夏花されどなつかその実をねとへて赤

何首烏 春苗

と生れ山芋の如く其蔓竹木に延て夏秋黄白花と開く子に稜わり秋久根ととも大ハ拳の

蕃薯 根

迎年豆の如くさうて利多し食して味よく人々を喜ばせり

南瓜 實

西瓜の如く色赤し葉も大蔓といふ

金我鳥定虫 瓜の

色淡黄かりて形我鳥の卵の如く味も其美なり童兒の如くおもひ顔と云く

西瓜 實

結ぶ圓く大さ艶の如く色も赤の如く子金色又黒さわり



和名ヒヨドリジャマコ



和名ウキウキ



和名ボウラ



和名ヒメ



和名スイカ

通草

葉石葦に似三葉小相對花白く實米似の如くくらえ取券なり

眉兒

とう豆秋の末にりりく實多し葉葉をり実と云く

山豆根 蔓生

豆根の如く葉多く冬も凋れ八月より用ひ一種小槐の如かりわり

掛樹

生にして甜瓜の如く細花七月の如く實むの下に在て拳の

苗維摩手 藤

生して葉厚しあれとつらえ乳汁あり子ハ瓢形ニ棗許あり一名羊角菜

石南藤 玉

山中に生れ其苗ハ木上と云く四時志



和名アケビ



和名メ



和名ルカ



和名モイ



和名ノウ

獨用藤 施刃

に生れ四時葉
ありつたを
葉上に刺し
ありつたを
時

瓜藤 四時

葉ありつたを
時な

施刃加生れ
會春藤 台加

に生れ苗蔓
木上よま
冬夏青月一土
人葉とつりて
薬入るこ

祈波藤 天合

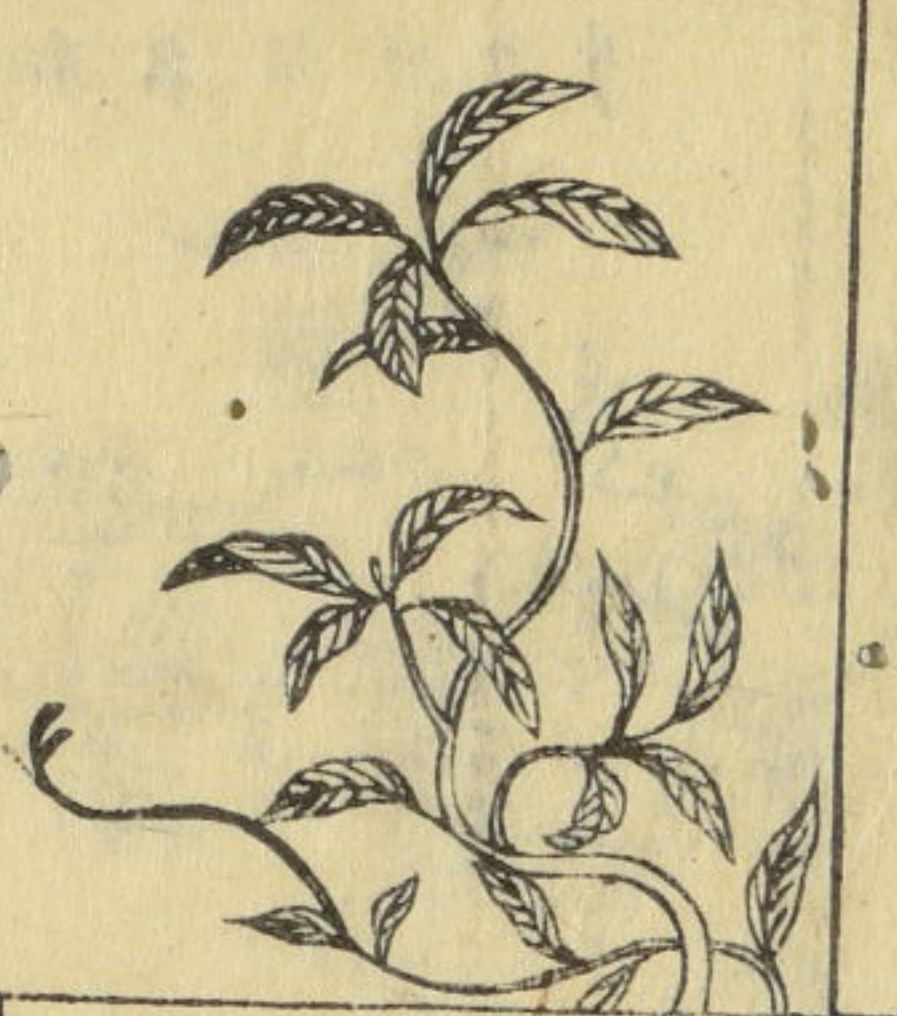
山中に生れ其苗
蔓て木上と由
と四時つりに
わり土人其葉
とつり

烈節 苗葉

俣に丁公藤に
似つり花実々
九月より

洛茨 雞垣

蔓延て七月
の比蕃花かり
葉圓て光潤あり
灼熱合入
實熟して葉之
地とつりへ



和名ツラムサキ

血藤 葉

蒲蘭の如く
根は肉指の
如く其色黄
かり五月は

鉤藤 葉

細長く節間
刺ありく
鉤の

百稜藤 台加

に生れ春苗を
生れ蔓て木上
とまよつたを
葉なり冬皮と
つりて薬入る

落鳳木 蔓

生て木と由
と葉形茶に
似つり花實々
四月より

百部 春苗

と生れ尚香葉
と心つり
二入つり実と
ひつり

石合草 台加

木とまよつ四時
葉ありむなし
その葉乃味其
とつり



和名キチカシ

我鳥抱山林
の中石に附て
生し蔓とあり
葉大豆に似く
根ハ菜サ服し
似り大小あり



羊乳花(蔓)
みて長さ二三尺
茎葉は多かりて葉
わらきとあり白
汁はつ根ハ蘿蔔
のくくして皺を
又丸もわりある
根と備ふる



木鼈子 春苗
と生し蔓とあり
四月黄びと生
六月實と結ぶ
拵姿に似て大に
其核鼈に似
ゆへに名つこし



大圭月 苗高
三尺より 蔓石
竹ノ類ノ葉圓
長色は紫い
馬蓼に似たり
根黄色かり



千歳薬 葉ハ
葡萄よりてその
茎白汁ありて
取し八月と
ひらと七月と



小圭月 三月
花と生れそ初
月葉とより福
州の土人生して
つと碎て瘡癩
を治る



麻黄 苗と生し夏長
して一尺より楸
上に葉むわり
実と結ぶ百合
瓣のくくして



紫苑 苗と
生して其葉三四
相つかり五六月
のうちに葉紫の
花とひらく実と
結ぶ根と



地黄 二月
葉と生し七地
に布て車前
似り葉上り
離文あり花
は麻花に似て
紅此葉かり



雞腿兒 苗の
高七八寸細く
鋸齒硬厚く背
白し黄びと用
根ハ指の太なり
一名ハ翻白草



蒹蘆巴 春苗
と生し夏子と結
秋に至るとこれ
此種 湯南諸
番に出し



九牛脚 苗生し独
高一尺葉は
似て圓く長し
背に白毛あり



陸英 春苗

と抽て莖より節あり節の間に枝葉と生じ大い水芥に似たり春夏葉ととも

水葵 池沢

及ハ河海に生じ汝人味て牛蒡に蜀郡の人其花と採て面薬に合は

白萼 葉ハ

沢深に似て小其形鷲に飛り似たり根ハ慈姑のこく小園根あり

江生

の地ま生じ梵心の草に似て三角に織て席と成薩加七島ヨリ出改ニ七島ト席ヲ名ツク

鱧腸 昂

蓮子草之下濕の地にえり二種あり葉柳に似光澤ありて馬齒莧に似る一種ハ桔梗に似たり

陰地 葉ハ

主月蒿に似く莖此紫色花小穂とかな微葉細辛に似り

唐土諸家



穀精草 穀

の中に生じ葉葉と青根花並に白色一名戴星草と云ハその葉細く花白く圓星に似たり

曲節草 四月

苗と生じ莖より節あり七八月花とけ薄荷に似たり子と結

馬鞭草 春苗

と生じて根牙に似たり又莖母り數して莖圓に三三二尺三四穂と抽たり

葶藶 苗と

生じ葉の高六寸三月葉心と開く角にして扁小黍粒の如く起るの後採り

海金沙 初生

して小株と成る一ニ人七月採て日中二日紙とて乾く其砂と紙上

蛇含 玉石

の上或ハ下濕の地に生じ一葉五又七葉あり葉細く花葉と佳



青箱子 苗長

一三四尺葉洞
柳に似たり莖ハ
青紅色葉高ニ似
たり七月花を
用く上あふ下白
しふあり

敗醬 叢

生うて花黄色
根紫色葉紫朝
似て陳敗豆醬
の氣あり故イ
名はく 白アリヲ
トコメト云

續斷 其葉

葉ニ似て莖方
葉ありお對に
花白く莖ニ似
たりいらく根ハ
大對のこ

火山母州 莖葉

一七柔々に細く
葉多葉ニ似て瑞
尖の夏白くと
ひらた秋實ハ
わりて豆のし

海根 山谷

一七生し莖わく
馬藜ニ似て根
葉葉ニ似く小

草綿 此草

秋花のひく實の皮
裂て綿と出れ是と
糸をつひきとて布に
用く此草ハ胡桓武天皇の
延暦十八年三河国龍
峯人漂着す船中に
此草あり識して諸國
頒種しむその後桂
とわくろく永禄年中
再び種とて今も
ひん

唐土諸國

和名ケノイ



和名ミナシ



和名ドロリソウ



和名ミツキ



和名ツキ



木草ノ二種アリ



龍葵 葉

圓く花白く実
牛李子不却
生ハ多く熟
て黒く煮てハ合
へ

玉不留行 葉ハ

尖小し一七匙
のく又櫻葉
ニ似たりあり四
月花といはる
は葉に莖ニ似
て生れ

筆頭菜 春初

花と生れ其形
筆の先ニ似
たり續草の未
葉の出るは
いつ筆の先

天名精 夏秋

枝と抽て薄荷
のく花紫赤白
して葉サ松葉
の如く小く
香氣蘭ニ似り

尖明子 苗生

一七高三四尺
六七月花と開
黄白色其子青
绿豆の如く
説出り

連翹 苗生

一七狭長楡葉
の如く莖赤く高
三四尺あり花
黄に秋実の
又一種莖葉

和名ウシホキ



和名キキ



和名ツクシ



和名マフバタ



和名フマ



和名フマ



山鐵蕉葉

蕨のこゝろ根を
そとののこゝろ
狗脊サ微蕨の
一種なり

霸王樹

飛胡氏壓の如
く色深まき
して判あま
まろくむか

肉菘菜

より出つ形菘根
のあまし鱧甲
あり列當瓊陽
これ同し
人食テ西朝
とルナカレ

龍鬚菜

石まきして
水と洗ハ白
海産石まきの
れふ水とく

鷓鴣菜

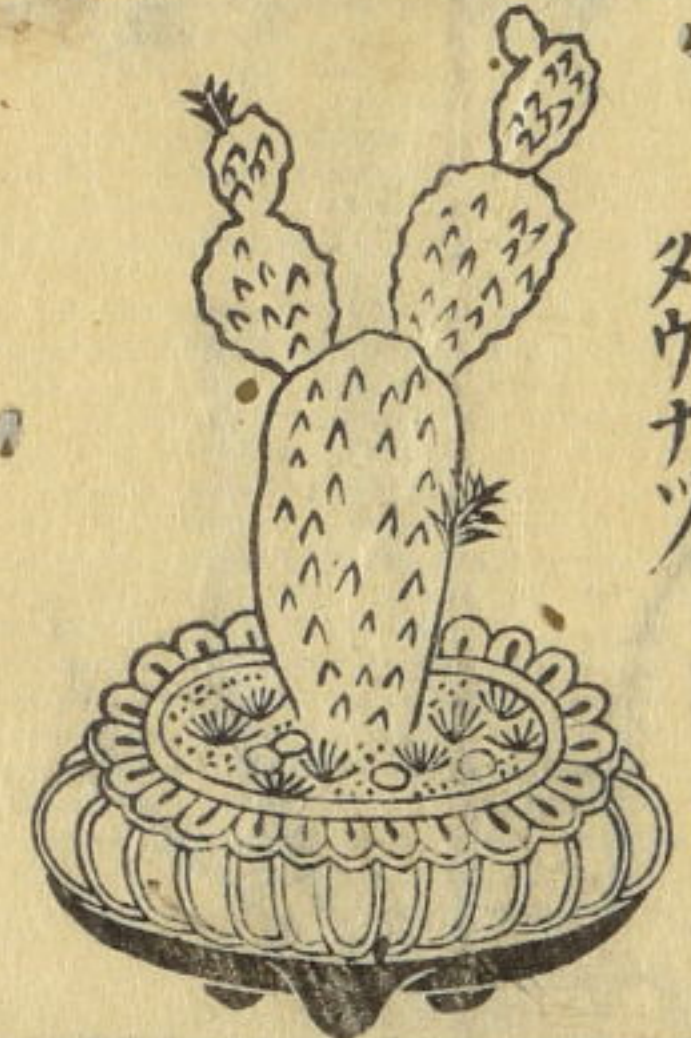
のうま生は小兒
の疳積病に用れ
る

唐土訓蒙園彙卷之十二

和名サクソテ



和名サニホテ
イロヘル
タウナツ



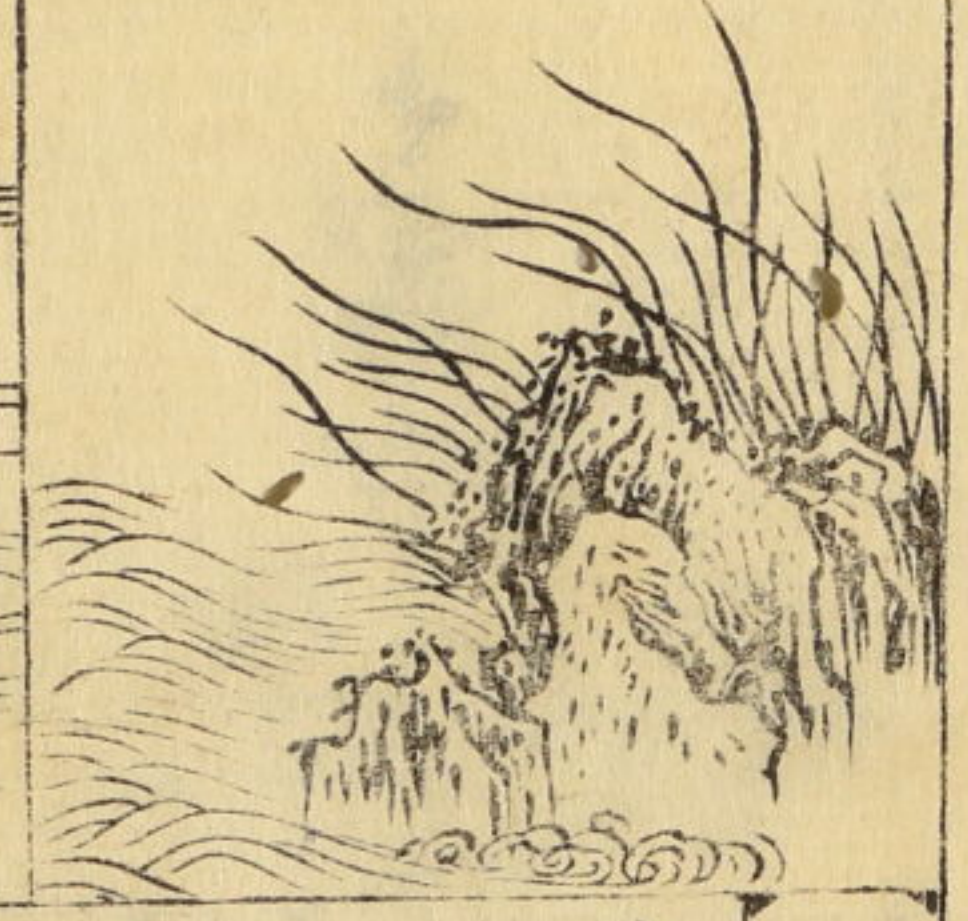
唐土訓蒙園彙卷之十二

草木

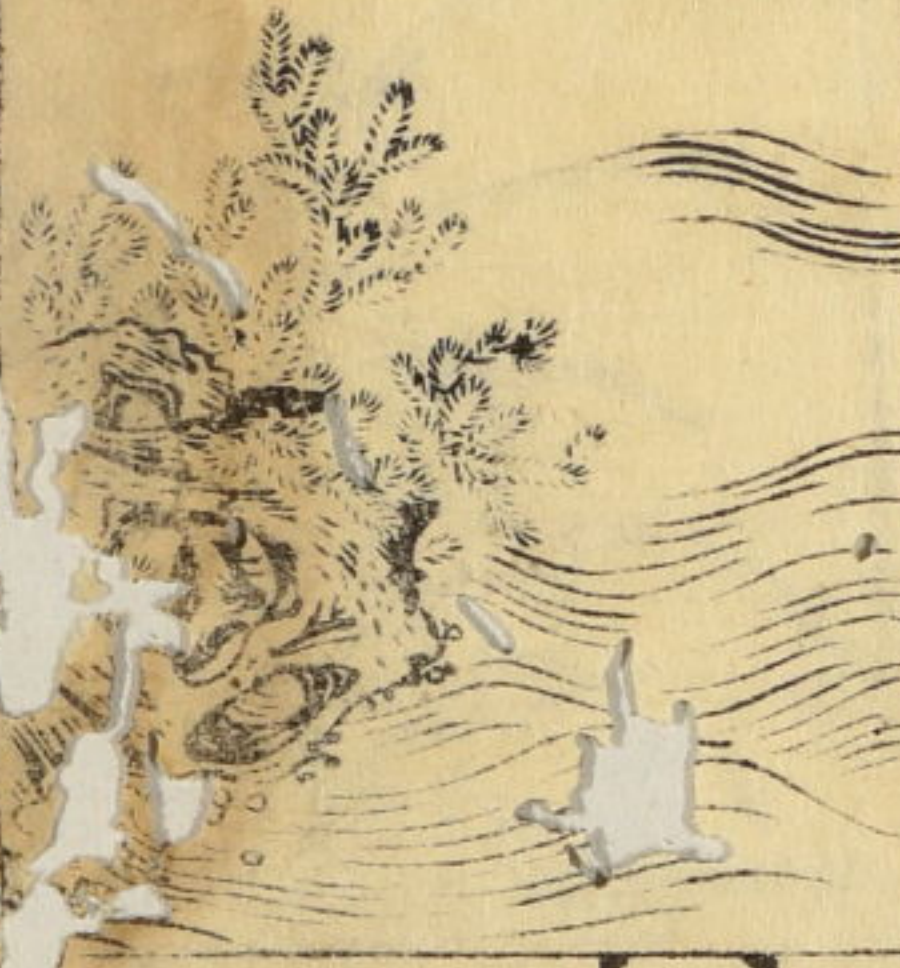
此部ハ水菜毒湿雜苞灌果寓
喬之州木のてて

草木之下

和名ランモ



和名クマク



丁香加苗

あて難をよ
うの莖葉刺多
葉、牽牛葉より
むもゆるり子
弘の小さく



鹹草

あゝの東子や固わり
は茶と産は葉邪
蒿子似てと氣香く
味鹹し
今八丈の
此菜を以て
字は八丈の



黄花菜

此部ハ水菜毒湿雜苞灌果寓
和ノ七種に用る
クヒラコナリ



澤瀉

浅水の中に生
葉牛の舌り
ゆるり莖長
花黄色なり
世伝無尾州と派
浮とす



大藕兒

サ藕の如くして小
莖熟して食
枝葉食ハ



燕子花 水沢

子生花菜
又白もあま
この形の似たりと
いて燕子と
和名カキツバタ

浮菫 夏

入て生れ六月に
とりて向い海
晒乾し海泡
塩醃し拌食ふ
生も亦

牛尾温 深水

の中に生れ葉ハ
髪ノ如く甚く藻
のく冬月魚
煮合ふ
夏秋

我見兒腸 他

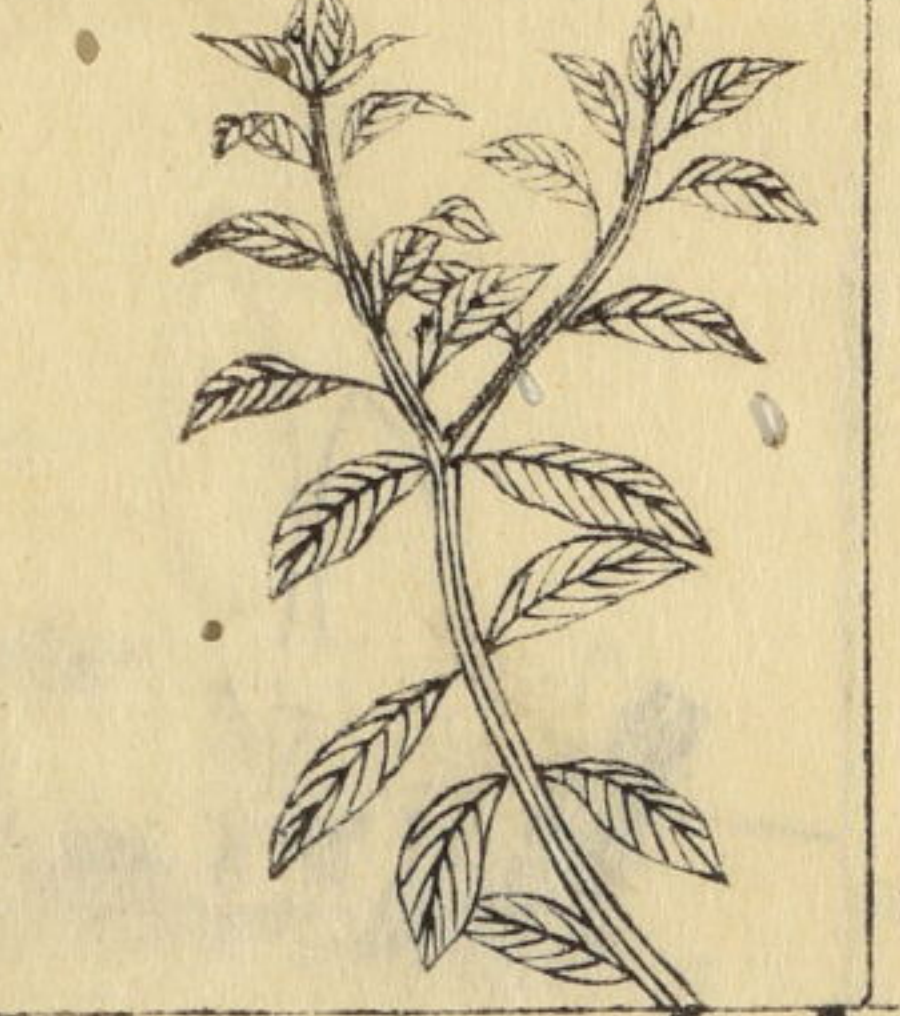
就て叢生して
長尺節々對て
葉生れ葉間分
て枝と生れ白
花と開く苗葉
食へ

地瓜兒 苗の

高二尺餘 莖方に
四稜あり葉薄
花似て微長
苗根とも

碎米薺 田

多し葉ありを
ひらく白むら
つて小虫のつく
わきひく葉と
合し瓜と入



眼子菜 六七

月より水沢乃
中水生れ葉表
滑りて細長
救入り湯と海
晒乾し醃醬に
拌てらるへ

燈鷺兒 二月

これより洗ひ
こしゆ香油板
塩に炒て
くあへ

水菜 秋水

田に生れ狀白
菜に類し香油
板塩つたせ
くあへ

首せ宿 二月

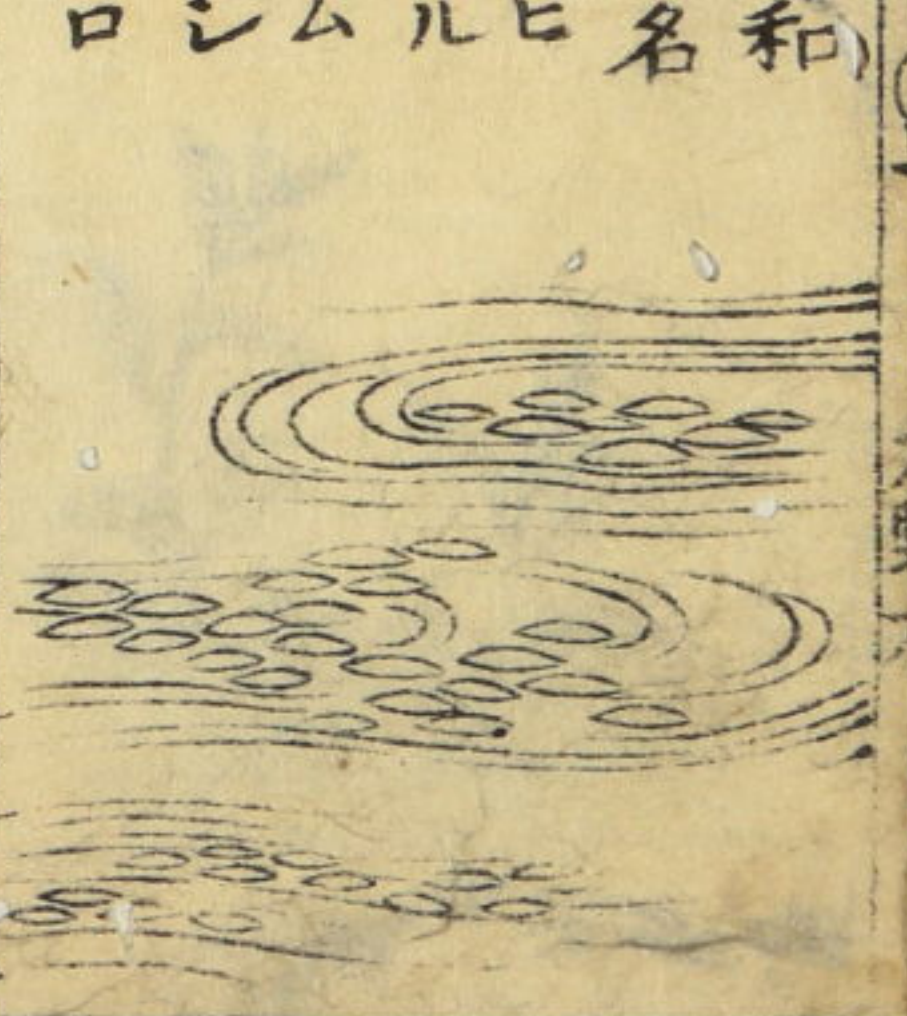
苗と生れ一叢
数十莖夏及ひ
秋入て細黄
花と開く小莢
と結て實あり

蕺菜 山隠

湿地にこれあり
蔓生うて莖
葉紫赤色葉
乃形喬麥の如
うて微少し

搥牛兒 田野

の中に生れ莖
細弱紅紫して
五稜の小紫むと
ひき葉莖と結
上は葉ありて細
葉の如し



生瓜菜 一名

して叢とらん
こ二三寸夏に
白花と用く細
実と造る其味
生瓜の氣かり

磨菰草 一名

一本と玉中
菜油とそく
菰と生瓜形大
小株あり
一名肉草 又雞腿

雷聲菌 夏秋

雷の後の後
中に生瓜
の味も亦

狼毒 苗葉

高陸及大葉に
似り莖の上
毛わり四月
いらさ八月実
と造る

葎菰子 苗莖

高三三尺葉比
に似り四月
と用く紫色
莖に白毛あり
五月実と造る

桐草 一名

相思草又淡
紫と朝鮮
人南草と名
煙花烟酒擔
不帰といふ



大黃 春初

苗と生瓜
四月実
花と用く一種
大黃あり

附子 鳥頭

天雄附子側子
四品都てこれ
種苗の高三四
以来莖四稜葉
艾の如く紫碧
色なり

牙子 昂

狼牙し苗地
に似るわつ
二條綠色根
して獸の歯
の如く故に

茵芋 苗長

一三四尺莖
赤系石榴
似て種厚
石楠に似る
四月四月
細葉と用く

大戟 春

芽と生一長
叢とたけ
入く葉初生
の柳に似る
四月四月
いらく

續隨子 苗ハ

大戟の如く
葉甲に幹と
実高花あり



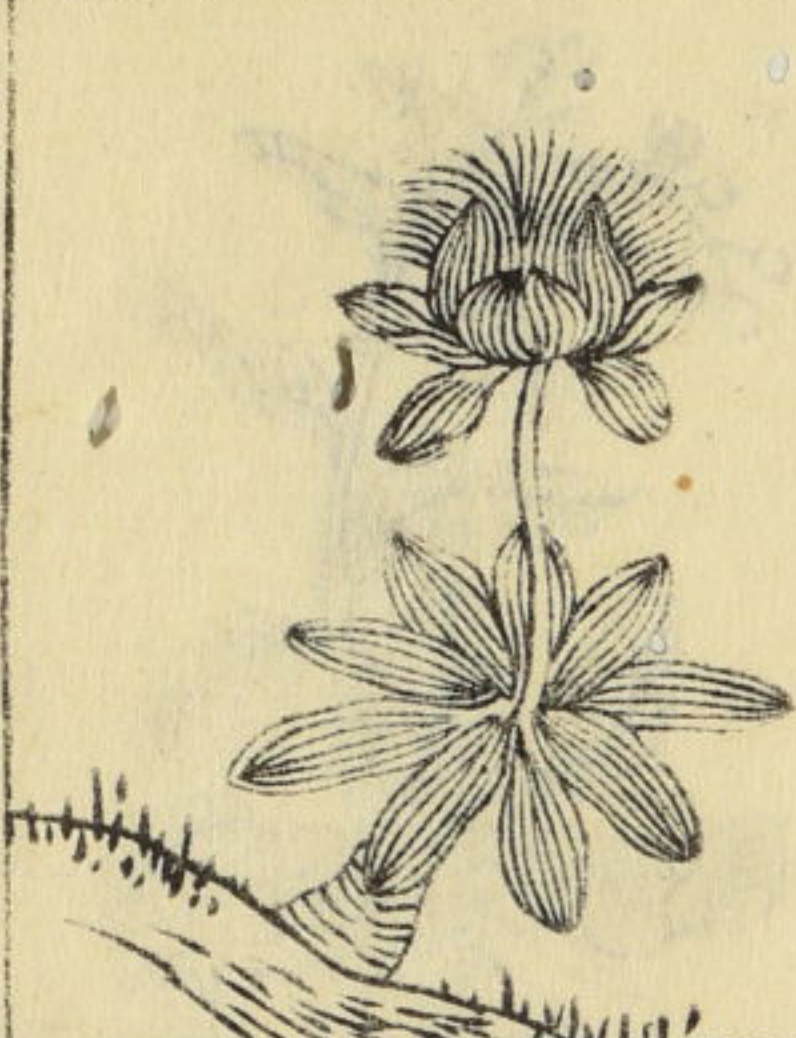
鬼臼 葉ハ

葛麻に似て初
莖と生じ葉陽の
一面赤く一面白く
年々一莖一葉
莖枯く一白と赤
花赤く莖赤く



蚤休 苗葉

王孫鬼臼に似り
六月葉赤く莖と
用く莖赤く葉色
上金糸ありく
下金糸あり



海芋 苗と

生じて高四五尺
大葉芋の如く莖
と抽くも用く一
種運むの如く碧
色也 大毒也



土紅山 高

七八尺葉枇杷
に似て毛生
秋白く花と生じ
粟粒の如く



攀倒甌 莖

是亦浮石の如し
春夏葉赤く花
研搗て冷み
に浸し汁を
絞る根は熱
盛は煩渴と治す



葛麻 蛇の

毒と解け
いとも大毒なり
人し後せん
吐利やまら



防葵 葉ハ

葵に似て莖とに
三葉一莖
わり中に一幹有
其端の如く用
て葱の如く白



蔞 苗葉

大戟に似て花
色根蘿蔔の
如く皮黄く肉白
初秋時け出
徴て漆の如し



坐墊草 六月

紫花と白ら
実と造り其苗
ととりてお撲
の傷と治れ



水茸草 春苗

と生じ莖青
葉楊柳の如く
水際生じ
十月八月



草 苗ハ

澤漆に似て莖
短小く葉に
汁わり根皮赤
く肉白く又草
其遂わら苗葉
葛麻の如く



荒花 二月

いとも大毒なり
皮膚を擦ると
腫れ大毒あり



和名
ヒトサシレユナ

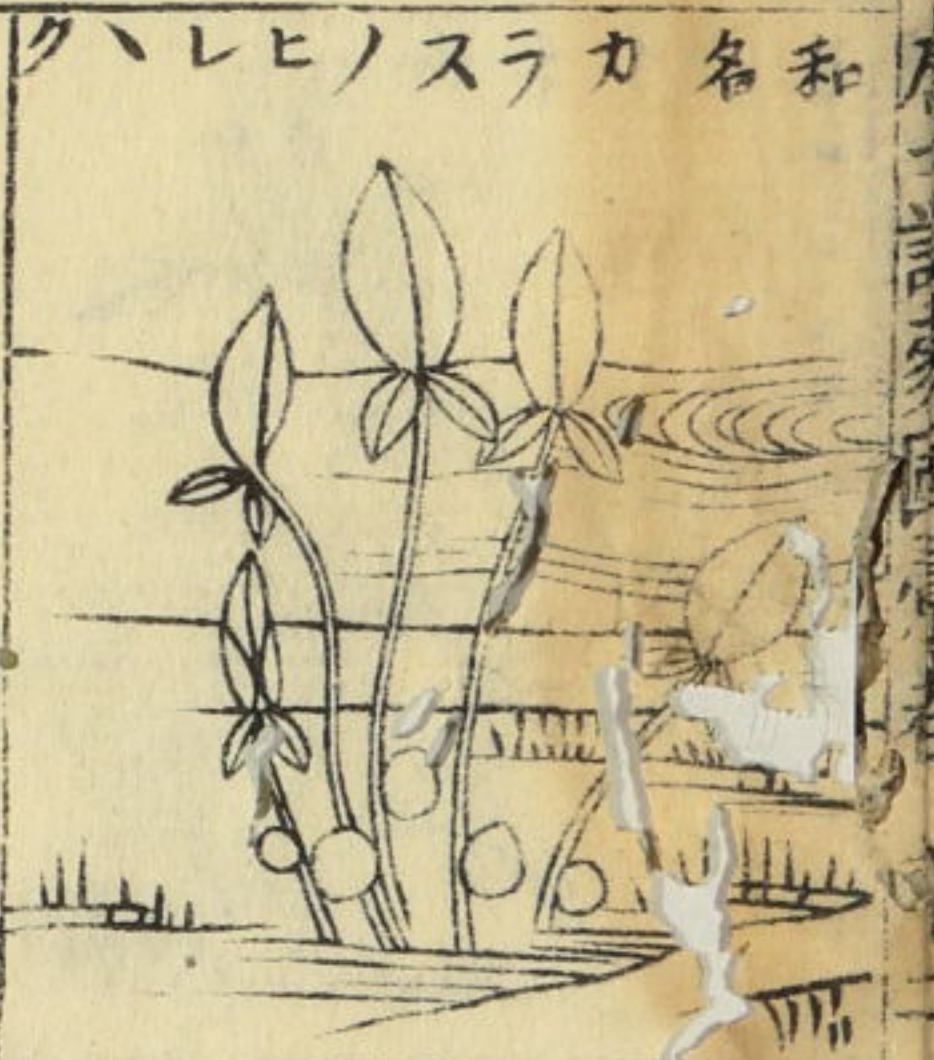
和名
シニケ

唐土

三

半夏 二月

苗と生 一茎一
葉三葉浅緑色
頗る竹葉に似て
光り一種羊
眼半夏あり



曼陀羅 高二

三尺緑莖碧葉
八月日乾と用く
狀牽牛に似く
大し實を搗て
圓くし



劉寄奴

蒲公英の一種を
なり又一種柳葉
のくくありは葉
とてその汁を
畫具の生臘脂と
はまよく血とむ



半天回 春苗

と生は高二尺餘
赤褐色冬より
至て苗葉を
枯る夏月より
これとるなり



兜兒傘

の舟に生は
苗三三三人株
莖出で葉を
生は傘蓋の狀
乃とくは淡白



甘藷蒿 苗高

二尺餘莖幹艾
に似て葉細長
鋸齒し葉莖
と布し生は苗
葉とも食へ



瓊瑰草 春苗

葉と生して花
三月根葉
とて用ひ
の土人風病を
治り



雞項草 葉ハ

紅花の如く葉
刺あり根ハ小
蘿蔔に似く
枝條直にのり
三四月葉を
生り



野蘭根 叢

生して高さ二
尺より四時葉
あり花を
その根とる



半邊山 葉ハ

苦蕒に似て厚
根白木に似く
軟なり二八九
月二ねとる



小兒群 叢

生高さ一尺より
春夏生長して
花を冬枯る
其根とる用ひ



苦蕒 江浙

近京にあり一
名尺二と名
は無蛇傷
其汁とのん
研り



唐土訓蒙園書

五

野落離 二三

月子 漿葉より
陽に 曝し 過
く 塩 醋 和
して くらふ



百乳草 莖

葉 俱に 甚く
松葉の 如く
なり 三月 子 苗と
生 一 四月 子 長
に



建水州 枝葉

桑に 似て 四時 常
に わり 福列
出 土人 葉
より 倍 乾末
大 用 用 用



露筋草 春苗

生 一 隨て 花
と 用 子 結
四時 凋 其
子 碧 色 くらり
時 用



獨脚仙 春苗

と 生 一 秋 冬 一
至て 葉 落つ 其
葉 圓 一 上 青
下 紫 其 脚 四
五 寸 夏 根 葉 と



石道遙 冬夏

常 一 あり 花
実 も 亦 多 くら
常 州 一 あり
くらり 用



催風信 天台

山 中 に 生 け 苗
葉 冬 夏 常 に
ま 一 其 葉 と
くらり 葉 入



荻薹 二月

苗 生 一 葉 幼
出 椽 心 一 似り
荻 八 葱 に 似て 白
青 色 上 に 葉 皮
わり 裏 の 莖 椽
皮 花 一 赤 色 一



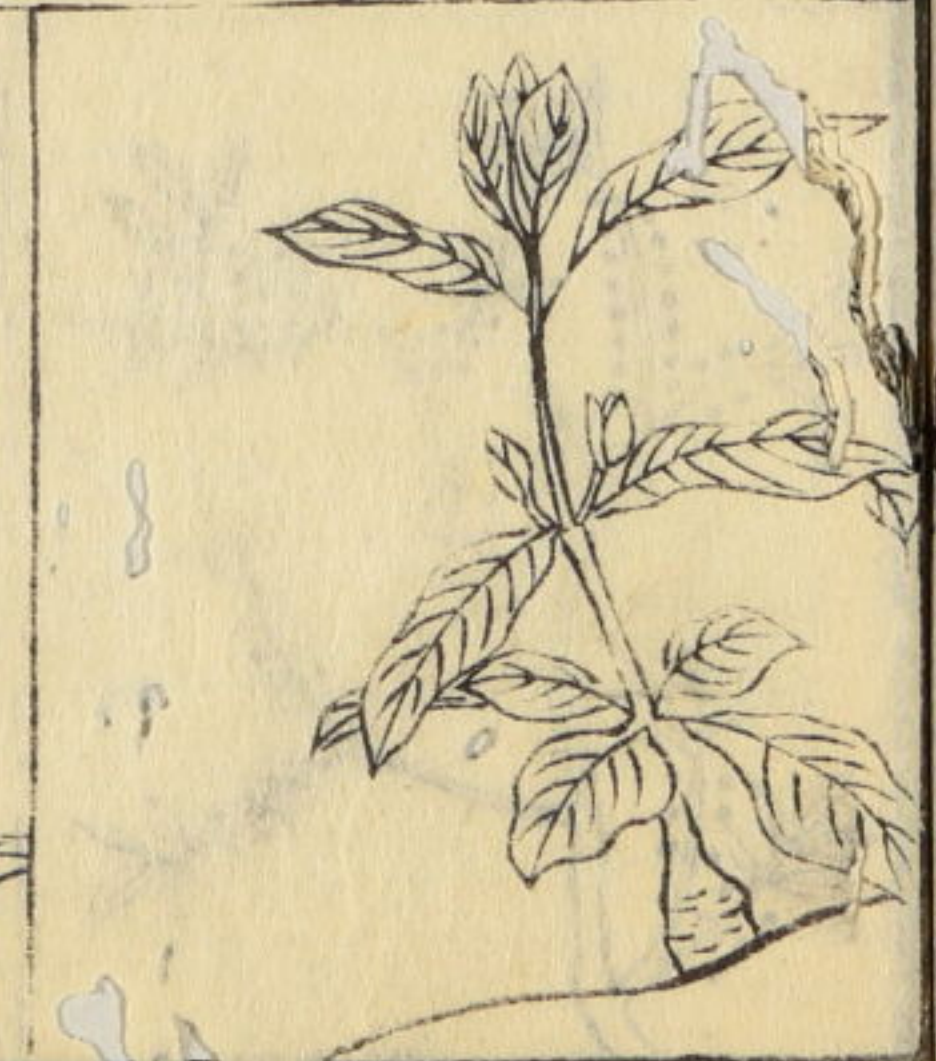
百藥祖 天台

山 中 に 生 け 苗
葉 冬 夏 つ 一 に
青 一 土 人 其 の
葉 と 冬 くらり



大木皮 其高

下 大 小 定 ら け
四 時 葉 わり 一
花 一 其 皮
と 用



百兩金 苗

高 三 三 八 幹 わり
て 木 乃 如 冬 凋
ま 葉 葉 面 俱
に 一 花 実 と
結 一 後 背 葉 と
花 碧 色 実 紫



烏藍 鳥ハ

大 なる 村 人 大
と 一 鳥 一
此 葉 但 宜 くら
熟 食 一



唐土訓蒙圖考

卷之二

都管草 苗生

一七八八ころ葉
土當飯に似て根
巻活に似たり三
八月二根とら

黄燎帚 天台

山中に生け苗
葉久夏常に
青し土人其根
としり薬入り

黄花了 春

三月葉を生し
三月に至ても
あり 辣菜花
に似たり 葉色
秋実と造る

無心草 三月

花と用す五月
実とむす六
七月は根と
とりし

茆實汗 葉

赤く花白し七
月より信弱
の土人とりし
風腫と治る

鷹爪 花実

色赤鋭て葉の
似たり 葉赤
柳の樹ハ連竟
よ似たり小樹を
む用て香し



刺虎 葉

冬と凌て周と
なりしに時
あり 葉枝幹
しに用ひ

芥心草 蔓

生し 根ハ
根ハ黄色四月
苗葉としり
もちめ

苦介子 苗の

高一尺二寸枝
枝葉莖青色
葉柳のしり
白花と用て楡
葉に似たり乃
子ハ黒色なり

布里柳 莖の

高三四尺葉ハ
杏に似て大し
夏の花さうに
して
実がら

紫金牛 葉ハ

茶の如く上緑に
下紫し 實圓
紅して丹朱
のしり 根微
紫色色し

子午花 一名

赤く花入る
亦必日午に
開く 必日午に
いしりしり
名は



唐土別裁園書

和名ニシクハ

胡堇州 枝葉

小莖に似る。花紫
一枝七葉。花三
出。苗とれく
搗て。俗茶と
同煎。丸と丸

甘藷(兒) 人家

園中多し。心
美。花紫。似て
毛。毛わり
根。附子と
根。附子と

野圃

多く生。葉々
薤。似て。冬。凋
多。根。水。仙。の
根。似。○。根。れ
類。これ。似。れ

望江南 花の若

さ。二。三。人。さ。り
多。花。多。さ。り
他。大。さ。さ。り
ひ。角。と。し
寸。三。寸。作。し

白屈菜 巨勝

小。生。花。苗。の。さ。り
二。三。尺。葉。紫。白
色。莖。毛。刺。あり
稍。花。と。分。ち
葉。と。分。ち
葉。の。山。花。葉。子。似

蔓

抽。て。地。と。被。て。枝。葉
竹。皮。の。し。く。耕。し。お
つ。て。藤。の。長。敷。丈
剪。伐。し。れ。の。敷。丈。と
纏。へ。し。○。今。が。秋
ま。細。く。つ。つ。と。と



杜堇山 其苗

高四五尺葉ハ
苦蕒菜に似
秋紫む
と用く実打杞
のこく丸なり

華澄茄 春夏

葉と生 青海
花は 実と結
て 梧桐子に似
り 八九月
ころし

麥李花 小

して 紫 紅 色
麥 熟 して 實
食 へ

竹蓐 竹

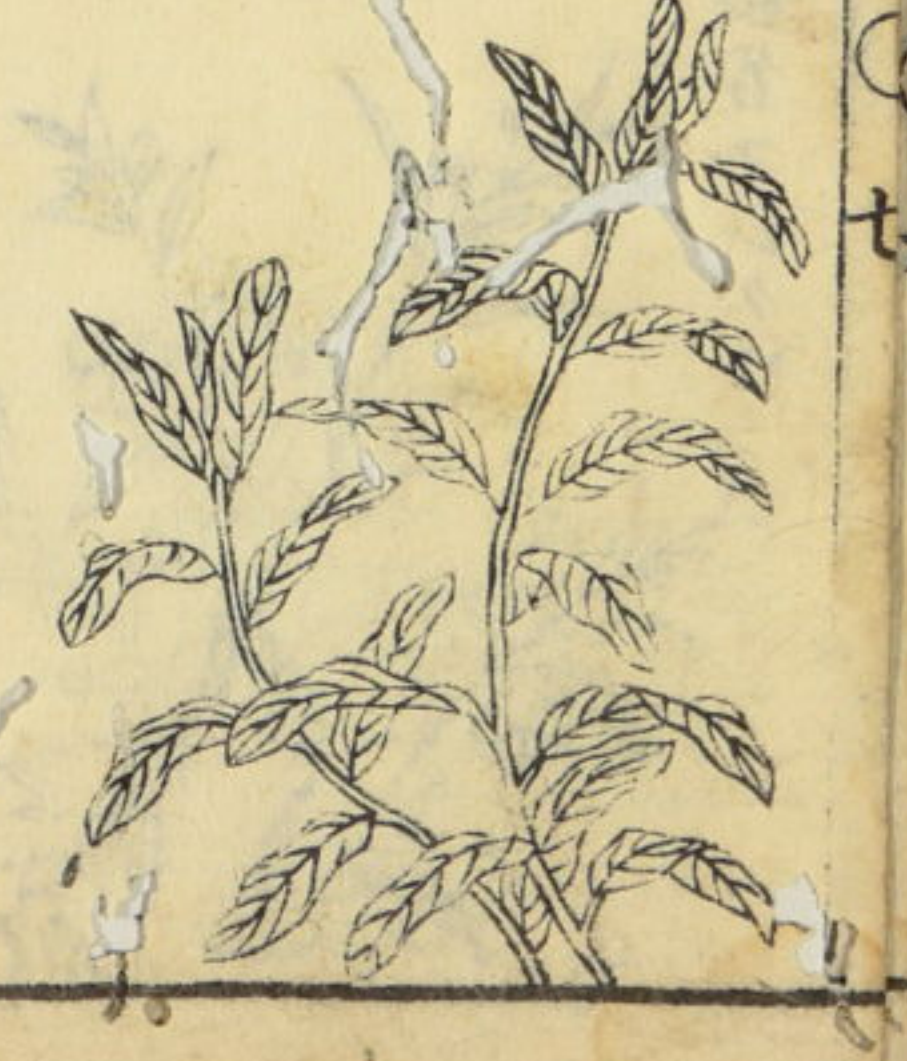
の 液 煮 たり 地
よ っ して 生 いた 鹿
肉 の じ じ 白 色
ら へ へ 又 竹
1 寸 許 ても 生 じ

雷丸 竹の

苓 じ 紫 じ づ ち
かり 丸 の じ
圓 じ 皮 じ
脚 白 じ

夾竹桃 花の

桃 の 葉 竹
乃 丸 じ 名
片 じ 濕 じ
陽 じ じ



迎春花 臘月

芙蓉と用く根
枝上子結て生
りてしこして
うくはくたり
をを



笑靨花 木の
高四五尺くうり
春の花と用く小
細にて粉米
の



金絲桃 桃の

如くして心よ
髪漬わたりて花外
に浦敷し
金糸の如くこ



郁李 木乃
高五六尺枝
皆李の如く唯
子小く梅桃乃
如く赤く味酸



木香白花 三種

わり芙蓉白紫三
色ともし
糖



錦帯花 木乃
蕾の形小は乃
形れく色粉
紅くして橋をり
色と屏に離り
植て玩し供に



刺桐花

野薔薇の如く
茎に刺多し
花ハ玫瑰の如
香



茶藨花 藤
身より茎青月
刺多し花用て
香微く清



玫瑰 花ハ

薔薇微く似て枝
刺多し花は白
氣あり四月より
いらく糕とるに
よい



金櫻子 叢
生薔薇微く形は
刺あり四月白
と用く秋と結
子も赤くあり
形は榴子似たり



寶相花 薔薇

子較進ん乃赤大
うて千瓣心
とあさく大紅と
粉色との二種
あり



波斯菊 一名
西番菊 甚き
久しきと乃
子地におの
昂生し復も



唐土別表同書

唐土別表同書

木綿 樹

木綿の樹は、葉が細く、花は白く、秋に入ると赤く、冬になると白く、布の原料となる。

吉利子樹 葉ハ

野桑葉に似て、小さく、春は白く、秋は赤く、冬は白く、布の原料となる。

木半夏 樹の

木半夏の樹は、葉が丸く、花は白く、果実は赤く、薬材として用いられる。

酸東 其木

高教丈徑圍一

細密にして色

其核仁や色

色丹の

山茅黄 木の

高丈餘葉ハ楡

子熟して赤色

九十月に実を

蔓荊 高

四五尺葉ハ

夏に花を咲か

色黄白色

秋子と熟す

木綿



吉利子樹



木半夏



酸東



山茅黄



蔓荊



賣木子 株

の高五七尺春嫩枝と生け葉尖長四五寸と用むる生け

椿樗 二木

の形幹大抵相異は椿木ハ實して香く樗木ハ疎臭

珊瑚 葉ハ

山茶の如く小く木の高三四尺子赤くして冬凋す

臘梅 臘月

小くと用て黄色蜜梅に似るは名はくは物の類ありはむら六ありはむら

文冠花 樹の

高丈餘葉ハ楡子熟して赤色

蜜山 木の

高丈餘葉ハ冬青に似る厚背白色毛わ

微紫

賣木子



椿樗



珊瑚



臘梅



文冠花



蜜山



檮

木葉

とまろく冬葉を
とまら葉を
うに一実赤
一ハ枝と萬
年枝と萬
凍まの類し

橙

樹

橘に似て葉赤
其形橘より大
して香あり實
久しくあふ人
家園中

檳榔

林檎

の類かり実大
の類かり実大
の類かり実大
の類かり実大

無花果

木

人家の園中
葡萄は長く硬
果と生れ初ハ
果と生れ初ハ

龍芳加

三月

小白むとひらく
実交熟は肉味
龍眼と同一

櫻桃

樹ハ

さうく春神白
花と開て実の如
子と一核とむす
数十顆懸く



和名アヲキ



和名タイダイ



和名ハク



和名イキチ



和名ユスラ



棠梨子

三月

花と用く白
随て實と結
其味酸く
澁く

棠梨

葉ハ

蒼木に似
花白く実と結
て小棟子の如
く

醋林子

其木

高丈樹枝條
とらる三月花
とひらく白
四いらし九月
実とむす

菴摩勒

木の

高二丈枝條甚
軟に葉まろ細
密朝し開暮
に飲る三月花
開て粟米の如

椰子

木ハ

祝棉と似て高
数丈子木末
わりの大
瓢の如く枝間
に密

欝榔

木乃

高五丈正直
小く枝分り皮
青桐に似る葉
木願し生に其
實房と



和名タカ



罌子桐 花葉

實の味甘く
吐きひ多く植
波と云て利わり

波羅得 或云

白木のわりの波
と云はるは
拙業スルニ此説非也
今江州ニアルモ公即
罌子桐ナリ波羅得
ヲ本州ニテ考ルニ
白木ニアラス此ニ圖
ヲ考ヘテ江ノカヨリ
未テウエシ生レヤス
シテ波ニ利アリ

波西維蜜 樹の

高五六丈冬凋まに
死なむ実わりて枝
の葉は冬に
枯わり五六月熟する
肉の
うりて

血竭樹 木乃

高数丈葉ハ椶

柳似て三角なり

其脂液木中

より流ゆる滴膠

の如く久くして

凝りてゆりてやろ

阿魏 西蕃

及び崑崙よりつる

或云は脂を毒を

こりて羊と樹ト

よりけてをばらけり

その脂羊よりけり

死にせしと阿魏

今ハ産するよりけり

茶とてんて餅と

をてつるといふ

粘脂香 婆律

國といつる木甲の

脂白松脂に似く

杉の本れを氣と



藤黃 樹と

海藤と名づく
真脯の人刀と
以て枝を研ぎ汁
をとるは

今畫家ニ用ル
シワウコシヤ

没薬 楸

櫟に似る木の
膏液結ひ
塊と云ふ

盧會 波斯

國に出つ令廣加
より来る者あり
其木よりし
脂液の滴りて
なる一取なり採
に時月を

菌桂 葉細

三條あり心葉
白ニ色し葉鋸
して枇杷をふの如
くわり又是ふ乃
柿に似るあり和
名は所はあり

月桂 葉桂

辛熱く皮より
花も亦花を
よく清き
乃桂なり
天竺桂 桂心なり

丁香 木の

さ大の葉楸
似て皮を剥き
あま細黄色に
し子枝葉の上
に出て釘子と
紫をな



書江川東國書

廿二

側柏 その

葉側むと夕
名は三月と
いらぬ実と
圓葉斤と
ものおもふへ



沉香 木

節多く葉楮
似て花白く子ハ
檳榔に似て大
桑の如く水
沈むの上と



降真香

番国より玉川香
甘穂方木に似
と諸香と和七
焼ハ鶴と感
神と降



扶杉 江南

山谷に生け樹大
枝十圍わり風無
して葉うみけり
詩經に謂唐棣
之華あまなり



蘓方木 樹ハ

槐子形と花黄
子子黒
出人
絳色と
淨心



杜仲 木の

高数丈葉率
爽の如く皮厚
子數はこれ
乃て内白線
と出



檫 二種

わり一種は葉
して榛に似
小田崎とて氏
用利あり



茶梅 白と

粉おの二種
土月とて用
久しく而
世ニ山茶花と
アメリリ山茶花
和ニ云ツバキナリ



海桐 葉ハ

手の大乃皮
梓の如く白皮
して堅く繩
滑りて名
和名ホウダラ



烏藥 葉微

圓小して尖
亞とて面青
背白一五月
黄白の細花
六月実と



橄欖 木ハ

木穂は似
秋の晩子實
家子に其木
と橄として
魚皆浮出



楸樹 木

大小わら大
琴瑟に似
系ハ楸桐と
白むとい
和名ヒサキ



善世圃

三

蘇木麩

樹ハ

梳櫛子似て葉離披し赤衣の状れ木皮中に白粉あり餅とありて命入玉人呼く蒨麩と云蜀兵交趾にあり



和名コクタン

鳥橋木

樹の

色漆黒體重堅緻墨おとあてふら葉ハまゝふ似けり性毒と解け



樺木

樹ハ

山桃に似り木小斑點あり皮厚し軟柔し皮匠家ニ用て鞆の裏とす



相思子

樹の

子大餘葉極似て花ハ紅英より似るの葉と踏く子あり半截黒とありこれと露腺香と収れを耗らざ



和名タウツキ

巴豆

木の

高二丈葉楸桃の如く大し四月花をて五六月實と結ん



大風子

大樹

の子狀榲子ましくみし圓なり其中に核あり數十枚中のた白色久しうすれば他を



樺

樹大

高く拳く柳樹のにおろく葉ハ種一似て狭長く冬とそ林にお此葉をこお葉の類つらうなるり佳なり



和名ケマキ

楠

樹大

小して葉桑の如し其椽性堅く水子希より故に船は造り木くくくして石となるあり



猪苓

土乃

底生皮黒く塊とを形猪糞に似らゆ一名地烏桃



猪苓

訶梨勒

樹白

く子ハ梔子に似て葉黄白色皮肉相をく七八月實熟す



和名カレノキ

